

夢

追

い

人

高い品質を伴ったエコ戦略を 今後も続けていきます



(株) 大新
代表取締役 江口正基さん

JAS認定工場である(株)大新が国内大手ペイントメーカーと共同開発をした水性UV工口塗装合板は、未来型の化粧合板といえる。五年前国内初の水性UVラインを導入し、生産を行っている。日産五〇〇枚生産している。

目止めから上塗りまで、トルエン、キシレン、スチレン等の厚生労働省策定の十一物質を全く含まない、安全な環境型塗料である。

江口さんはこう言う。「環境重視の点から木工塗料の水性化が早くから検討されていましたが、開発に数々の難問があり、実用化に踏み切れなかったのが現状でした。しかし、大手メーカーと共同開発に成功し、環境を重視した製品を提供できうれしく思っています。」

従来の油性塗料には有害な有機溶剤が含むまれており、これらが頭痛、目の痛み、耳鳴りなどの体調不調を引き起こす、『シックハウス症候群』の原因となっていた。この点



クリーンルーム

「水性UV工口塗装合板は一切心配がおりません。しかも、従来製品と比べて、美観や強度も同等」という。

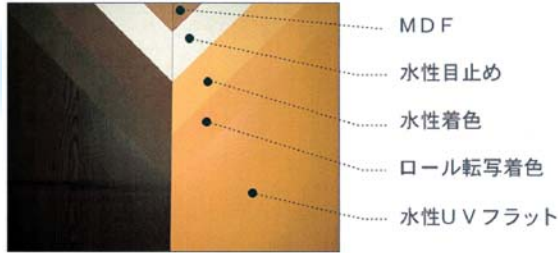
現在は、病院の医療家具、公共施設やマンションなどの内装材として、需要が伸びている。「今後はこうした工口製品の需要はますます高まってくると思っています。営業にもさらに力を入れていきます。当社のホームページに詳細を載せていますので、ご覧頂きたいと思います。関心ある方には、サンプル板とパンフレットを送れるようになっています。」

水性UVエコ塗装合板(木工用水性UVシステム)

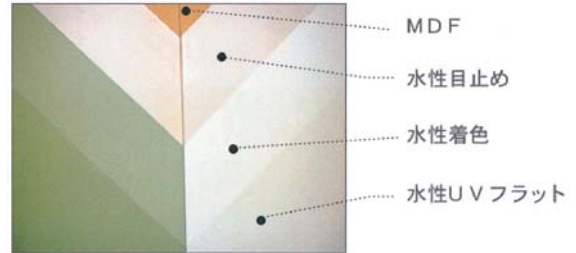
水性UVエコ塗装合板とは？

- 国内初の水性UVラインを導入し生産しています。
- 水を主体とした紫外線硬化型の塗料を使用しています。
- MDF素材に直接塗装します(危険有害物質ゼロ)

木目工程



単色工程



使用例



製造ライン



(株)大新の特色はエコ戦略だけではない。JAS認定工場として品質にもこだわる。徹底した管理体制を備えている。どのようにだろうか。例えば、塗装を行うクリーンルーム。「クリーンルームは、室内の気圧を外より高めた空間です。そのため外のほこりが入り込むことはありません。塗装面は静電気を呼ぶので元来ほこりが付きやすいですが、それを防いでくれます。作業者も所定の履き物を使い、ほこりを落とすことからクリーンルームに入ります。しかも当社のクリーンルームは二重構造にしています。」

しかし、「設備だけで高い品質が保証されるわけではありません。」江口さんは言う。他に何が肝要な要素となっているだろうか。それは、「従業員全体の二つになった意識」という。

(株)大新では、QC運動に力を入れている。月に一回、従業員全体、その後部署ごとに改善のための意見交換、分析を行う。その際すべての情報が開示される。販売先、先月の売り上げ業績などの具体的数字が出される。例えば、ある部署で成績が伸びなかった場合、何処に原因があるのか、小さな改善点はないか、小さな失敗はなかったか。こうした点ですべての従業員が積極的に意見を述べるよう勧められている。「こうしたQCによって、従業員すべてが一体感を持って、意欲的に生産に携わる意識が生まれけると思っています。それに単に生産性を上げるだけでなく、自分たちが自身がマニュアルを改善していくことになり、またそれをしっかり守る大切さも認識して頂けると思っています。これが高い品質につながるかと考えています。」

今後について聞いたみた。「JAS認定工場として高い品質を伴ったエコ戦略を今後も続けていきます。そして、その方向の中で新たな技術開発に努めたいと思っています。」